

早稲田大学 vs 順天堂大学

4月16日(水)
17:50K.O.
江戸陸

前節の駒大戦で立ち上がり5分に失点してしまった早大だが、そこで落ち込まずに立て直して15分に同点に追いつくと、後半は2ゴール。3-1でしっかりと勝点3をゲットして2連勝を飾った。ただし、古賀聡監督の言葉は厳しい。

「一つの競り合い、球際、ポジショニングの修正が、今日の試合で課題として多く残った。一つひとつのプレーの質を高めていきたい」

優勝を目指すためには、今の状態のままだと厳しいと感じているのだろう。さらに、ランクアップさせていかなければいけないが、特に今節は昨年勝っていない順大とのゲーム。大きなポイントとなる。

「技術的にも高い選手がいるし、守備が堅い。勝つことは難しいチームだと思っている。短い期間だが、さらに自分たちの強みに磨きををかけて臨みたい」(古賀監督)

開幕から2連勝と好調な順大。一番の要因は守備。「守備がうまく機能したため、点が取れた」(吉村雅文監督)

開始11分に先制点を奪われてしまったのは反省点だが、その後、慌てることなく修正し、しっかりと対応。「守備を重視している中で、そのコンセプトを発揮でき

た」(吉村監督)

前半34分に同点に追いつくと、後半4分、30分に加点して3-1。安定した戦いを見せた。

「もう少し高い位置でボールを奪いたかったが、流経大の個の力がよかった。もう一つ前の位置で守備ができていたら、もっと安定していただろう。局面で突破されることを、チームの力としてどのように数的優位な状況で守っていくかということが大切になる」(吉村監督)

2連勝同士の対戦、どちらに軍配が上がるか!?

昨年の対戦：前期/早大0-1順大、後期/早大2-2順大

早大		順大	
20. 平澤	14. 堀田	23. 新里	3. 吉永
3. 田中進	15. 上杉		5. 新井
	6. 近藤洋	6. 長谷川涼	
1. 松澤		20. 佐野	30. 今川
	23. 園田	10. 長谷川竜	
		7. 内山	
2. 奥山	11. 山内		4. 谷奥
22. 新井	7. 近藤貴	22. 米田	13. 宮本

国士舘大学 vs 駒澤大学

4月16日(水)
17:50K.O.
三ツ沢陸上

「複雑だ。相手が少ない状況だからといって、決して優位ではなかった。気持ちの面で油断が見えた」

と、国士大の細田三二監督は前節の慶大戦後(0-0)に渋い表情。前半、試合を優位に進めながらゴールが奪えず、相手が45分に退場者を出し、後半45分は数的優位の中で戦ったが、勝ちきれなかった。一方で、「相手のほうがシンプルに攻めてきて、決定的な場面を2、3度作られたが、失点せずに無失点で抑えられたことはよかった」(細田監督)

苦しい試合内容でも、勝点1を奪えたことは今後につながる。

「プレーが消極的だった。本来のゲーム展開ができなかった」(細田監督)

昨年のように、攻守にアグレッシブに向かっていく強さを出していきたい。

3年ぶりに1部に昇格し、思いきり力を発揮したい駒大だったが2連敗スタート。前節の早大戦は前半5分に先制点を奪ったものの、その後3失点。

「相手の速さにやられてしまった。スピードダウンさせて時間を稼げれば、3点も取られることはなかった。早大のほうが一枚上手だった。うちは右サイドが武器だ

が、あそこをもっとちゃんとやればチャンスは増えたのではないかと。ここから勝負どころなので成長してほしい」(秋田浩一監督)

粘り強くディフェンスをしようという意識は見られたものの、結果的には3失点。

「速攻やロングボールにプレッシャーをかけて、少し声をかければできたこと」(秋田監督)

より駒大らしさを発揮できるようになれば、失点を抑えることは可能だろう。

昨年のリーグ戦での対戦はなし

国士大		駒大	
12. 藤崎	10. 進藤	7. 平野	13. 大木
13. 端	29. 内山		2. 嶋谷
	8. 松本	10. 板倉	
21. 久保田		9. 小牟田	14. 中村
	6. 海野	1. 秋山	
5. 仲島	11. 平松	5. 伊藤	
7. 橋	20. 田中	11. 小牧	16. 柳川

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.3 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専修、早大、順大が連勝スタート

2節から4節までは1週間で3試合の連戦となる「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。連戦スタートとなることで波に乗れるかどうか、非常に大きなポイントだった2節を振り返ってみよう。白星スタートの専大は東国大とのゲーム。両チームともなかなかゴールを奪えず、後半途中まで拮抗したゲームが繰り広げられたが、終盤の38分と43分に専大がゴールを奪って東国大を突き放し、2-0で勝利を収めた。東国大は連敗のうえ、まだゴールがない。同じく開幕戦で勝利を収めた早大と、開幕戦で専大に大敗を喫してしまった駒大の一戦は、開始5分に駒大が先制点を奪ったが、その後、15分、後半8分、25分と得点を重ねた早大が3-1で2連勝。駒大は連敗を喫してしまった。

まさかの黒星スタートとなった優勝候補・明大と、同じく開幕戦で敗れた桐蔭大のゲームは、初戦の鬱憤を晴らすかのように明大の攻撃陣が爆発。前半17分のゴールを皮切りに4ゴール。1失点したものの4-1で勝利を収めた。桐蔭大は2連敗となってしまった。互いに開幕戦を勝利で飾った国士大 vs 慶大は、攻守両面でがっぷり四つに組み0-0のスコアレスドローに終わった。慶大は前半45分に退場者を出すアクシデントがあったが、後半には鋭いカウンターを繰り出しチャンスを出した。引き分けに終わったが、この粘り強さは他チームにとって脅威になるかもしれない。

得点ランキング

近藤 貴司 (早大)	2点
長谷川涼太 (順大)	2点
前澤 甲気 (専大)	2点
北出 雄星 (専大)	2点
苅部隆太郎 (明大)	2点
以下19名	1点

アシストランキング

北出 雄星 (専大)	3アシスト
以下13名	1アシスト

開幕戦、白星スタート同士の対戦となった流経大と順大の一戦は、流経大が前半11分に先制点を奪ったが、34分に追いついた順大が、その後も2点を奪って3-1で2連勝。流経大は自分たちのポジションサッカーを貫けなかった。いずれも開幕戦で敗れた筑波大 vs 中大は、互いに譲らず0-0のスコアレスドロー。両者痛み分けとなった。専大、早大、順大が連勝スタート。今節では連勝同士の早大と順大が対戦し、注目カードだ。このほかにも、白熱した試合が各地で繰り広げられるのは間違いない。

JR東日本カップ2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	順大	慶大	国士大	明大	流経大	中大	筑波大	桐蔭大	東国大	駒大	試合数	勝数	分け	負け	総得点	総失点	得失点差	勝点
1	専大		6月15日	5月5日	4月20日	5月10日	5月24日	5月2日	4月27日	5月17日	4月16日	200	600	2	2	0	0	8	0	8	6
2	早大	味フィ西		4月16日	5月6日	5月18日	5月3日	5月10日	4月19日	5月25日	4月26日	200	301	2	2	0	0	5	1	4	6
2	順大	フクアリ	江戸陸		5月10日	5月2日	4月27日	301	6月15日	200	4月19日	5月24日	5月17日	2	2	0	0	5	1	4	6
4	慶大	味フィ西	味フィ西	フクアリ		0△0	200	5月18日	4月16日	4月27日	6月15日	5月3日	5月24日	2	1	1	0	2	0	2	4
5	国士大	味フィ西	味スタ西	江戸陸	0△0		6月14日	5月5日	5月24日	4月20日	100	4月26日	4月16日	2	1	1	0	1	0	1	4
6	明大	川口	味スタ西	味スタ西	0●2	味フィ西		4月16日	5月18日	5月10日	401	5月6日	4月20日	2	1	0	1	4	3	1	3
7	流経大	江戸陸	たつのこ	1●3	たつのこ	たつのこ	たつのこ		100	6月14日	5月24日	4月20日	4月26日	2	1	0	1	2	3	-1	3
8	中大	三ツ沢陸上	味フィ西	味フィ西	BMWス	川口	味スタ西	0●1		0△0	5月5日	5月10日	5月2日	2	0	1	1	0	1	-1	1
9	筑波大	たつのこ	BMWス	0●2	味スタ西	ひたちなか	味フィ西	味フィ西	0△0		5月2日	4月16日	5月6日	1	0	1	1	0	2	-2	1
10	桐蔭大	BMWス	古河	味フィ西	古河	0●1	1●4	たつのこ	夢の島	三ツ沢陸上		5月17日	5月10日	2	0	0	2	1	5	-4	0
11	東国大	0●2	0●2	千葉東総	BMWス	多摩	味フィ西	ひたちなか	フクアリ	たつのこ	たつのこ		6月15日	2	0	0	2	0	4	-4	0
12	駒大	0●6	1●3	ゼットエー	たつのこ	三ツ沢陸上	味フィ西	多摩	三ツ沢陸上	駒沢陸上	保土ヶ谷	古河		2	0	0	2	1	9	-8	0

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

勇気は、努力が**つく**ってくれる。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

筑波大学 vs 東京国際大学

4月16日(水)
11:30K.O.
たつのご

前節の中大との一戦は0-0のスコアレスドローに終わった筑波大。開幕から2試合で勝点1と、優勝を狙うには厳しいスタートとなってしまった。

「チャンスがあったため、勝点3を取りたかった。勝点3を取れるゲームだったので、残念だ」(中山雅雄監督)
特に前半はポゼッションで相手を上回っていただけに、そこからいかに得点に結びつけていくかが今後の課題となるだろう。もっとペナルティエリア付近でパス交換を積極的に行い、相手の守備を崩していきたいところだ。一方で、

「最後まで粘り強く試合をしていた。失点0に抑えられたのはよかった。ただ、シュートでの思いきりのよさが必要。積極的にゴールに向かう姿勢を意識したい」(中山監督)

パスに固執せず、思いきり狙うことも必要になってくるだろう。

今シーズン、2部から1部に昇格した東国大。昨年のチャンピオン・専大に対して、

「残り10分までプランどおりにやれていた」(前田秀樹監督)

というように、決して悪い内容ではなかった。しか

し、そこで勝点を取れないのが悩みどころ。

「決定的な場面で決められていれば、この試合はわからなかったと思う。専大とは明らかにレベルの差があるが、どこまで失点せずにいられるかという気持ちで戦った」(前田監督)

後半38分、43分に失点し、0-2の敗戦となってしまったが、このサッカーをベースに戦っていきたい。

「だんだん自分たちのペースで試合を運ぶことができると思う」(前田監督)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

筑波大		東国大	
8. 早川	28. 北川	22. 菅原	29. 新聞
7. 車屋	14. 吉田	4. 加藤	15. 舛田
1. 岩脇	10. 中野嘉	8. 上船	21. 今野
	29. 中野誠	10. 若井	
	6. 片岡	11. 赤崎	5. 鈴木
5. 西村		7. 小玉	3. 新地
2. 田代	11. 高柳		

中央大学 vs 慶應義塾大学

4月16日(水)
15:30K.O.
BMWス

なかなか本来の調子が出ない中大。前節の筑波大戦も0-0の引き分けに終わった。

「勝ちきれなかったが、勝点を取れた。守備においても開幕戦の課題をクリアできたと思う。ただ、すべてをクリアしたわけではないので、一つひとつ克服していきたい」(白須真介監督)

開幕戦から一歩前進といった形だが、「点が取れなかったのが課題。それをこれから作りあげられるようにしたい」(白須監督)

というように、攻撃をしっかりと形成していきたい。「戦うベースとしては、守備から攻撃に移っていけるようなスタイルを、誰がでてでも貫けるようにしたい」(白須監督)

守備は全体的に安定してきているだけに、攻撃陣の奮闘に期待したい。

開幕戦で、優勝候補の明大を2-0で破った慶大。注目された前節の国士大戦だが、ドローに終わった。

「大きな勝点1を得て満足している」

と須田芳正監督が試合後に話したように、前半はやや劣勢の中、45分には退場選手を出してしまうアクシデント。苦しい戦いとなったが、後半、数的不利を感じさ

せないようなサッカーを披露し、得点こそ奪えなかったが鋭いカウンターからチャンスを演出した。

「10人になっても、守備面でしっかりと真面目に守りきれたことはよかった」(須田監督)

これで2試合連続の無失点。守備には自信も生まれているはずだ。

「攻撃面で、もう少しリズムよくシュートまでいけるようにしたい」(須田監督)

出場停止：端山豪(慶大)

昨年の対戦：前期/中大1-0慶大、後期/中大6-1慶大

中大		慶大	
15. 縣	11. 古橋	8. 山浦	3. 溝渕
3. 小出	19. 岩渕	26. 加瀬澤	6. 望月
	25. 三島	20. 山田	
1. 前田		25. 小坂	1. 峯
	6. 秋元	15. 宮地	5. 並木
5. 岡崎	9. 内田	11. 増田	4. 保田
27. 市木	26. 翁長		

明治大学 vs 流通経済大学

4月16日(水)
13:50K.O.
たつのご

優勝候補に挙げられながら、開幕戦で慶大に敗れた明大だったが、2節の桐蔭大との対戦では4-1の勝利を収めた。

「黒星スタートだったので、内容以上に結果を求める試合で勝ててよかった」(神川明彦監督)

前半17分と比較的早い時間帯にゴールを奪ったが、2分後に失点。一瞬、暗雲が立ち込めたが、すかさず2分後に勝ち越しゴールを奪って常に試合を優位に進めた。ただ、前半に2点を奪ったとはいえ、放ったシュートは3本。

「特に前半に見受けられたが、攻守においてサッカーの統一感がないので、自分たちの目指すフットボールを見直したい。全体像をもっと考えたい」(神川監督)

というように、優勝を目指すためにはさらに上を追求する。

「流経大は強いので思いきってもっと力を出したい」(神川監督)

優勝候補の流経大だが前節の順大戦は、「完敗」(中野雄二監督)

先制点こそ奪ったものの、その後は失点を重ね1-3の敗戦を喫した。

「相手がウチのラインを下げさせるために、縦へ縦へフィールドしてきたことに付き合ってしまった。蹴り合いになるなら、セカンドボールをいかに拾うかということも指示していたのに、その部分の準備ができていなかった」(中野監督)

状況判断の部分を含め、もう一度、ポゼッションの部分をしっかり突き詰めていかなければいけないだろう。中2日での戦いだけに気持ちを切り替えて、本来の力をしっかりと発揮したい。

昨年の対戦：前期/明大0-0流経大、後期/明大4-1流経大

明大		流経大	
6. 高橋	8. 石原	2. 湯澤	
		26. 藤原	
4. 小出	9. 矢島	19. 立花	
	17. 小谷	10. 野口	
1. 三浦		29. 菊池	5. 川崎
	18. 荻部	25. 古波津	1. 中島
	7. 差波	9. 田上	28. 三嶋
3. 山越		6. 富田	
2. 室屋	11. 藤本		

専修大学 vs 桐蔭横浜大学

4月16日(水)
17:50K.O.
BMWス

開幕から2連勝と、3連覇中の専大は今年も強さを発揮。ただ、前節は東国大に2-0で勝ったものの、

「大勝のあとのゲームということで慢心があった」と、源平貴久監督は厳しい表情だった。

「引いて守る相手を打開できなかったことが課題」(源平監督)

ボールを保持しているものの、なかなかシュートまでいけず、効果的な攻撃ができなかったことに危機感を覚えている。

2試合連続で完封と守備陣は安定しているだけに、攻撃がさらに活発になれば圧倒的な強さを手に入れることができる。個人の打開に頼るのではなく、

「チームでカバーするという意識をもっと強く持って準備したい」(源平監督)

「連敗スタートとなってしまい、非常に残念だ」(桐蔭大・八城修監督)

というように、前節の明大戦も1-4の敗戦を喫してしまった桐蔭大。苦しいスタートとなってしまった。ただ、点差は開いてしまったが、まったく歯が立たなかったわけではない。前半17分に先制点を奪われたが、2分後には同点に追いついた。しかし、さらに2分後に勝

ち越しゴールを決められてしまったのが、試合を難しくしてしまった。

「チャンスの数ではそれほど負けていなかったのですが、攻撃面ではできていた」

と、八城監督も手応えを得ている。問題は4失点の守備の部分だろう。

「取られる時間帯や取られ方が非常に悪い。それはDFのせいだけではなく、チーム全体の問題だから、そこを改善していきたい」(八城監督)

昨年の対戦：前期/専大6-2桐蔭大、後期/専大4-0桐蔭大

専大		桐蔭大	
5. 小口	11. 前澤	7. 山根	11. 石堂
6. 河津			4. 古澤
	7. 北出		12. 金子
1. 福島	8. 星野	9. 山川	10. 坪井
			13. 岡本
			1. 土井
			5. 大野
3. 萩間	23. 佐野		3. 長谷
2. 北爪	10. 仲川	8. 山崎	18. 佐々木

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想